

【国・県・市合同行政相談所】・・・・・・ 期日 → 平成 19 年 9 月 27 日（木）  
『暮らしの行政困りごと相談』・・・・・・ 会場 → 新発田市生涯学習センター

新潟県新発田地域振興局長 様

塩津潟教育研究所  
所長 伊藤 國夫

1 問題点・・・・現在は、「塩津潟」か「塩津潟（紫雲寺潟）」が多い。紫雲寺潟ではない。

- (1) 『『蒲原』の意味を知っていますか？』の内容が間違っている・・・・紫雲寺潟  
発行者は、新潟県新発田地域振興局（発行 2006 年 3 月）
- (2) 新発田地域振興局内の認識の違い ① 土木部・・・・塩津潟  
② 農業振興部・・・・紫雲寺潟

2 塩津潟か塩津潟（紫雲寺潟）にしている行政機関・・・・多くなってきた

- (1) 『新潟県地質図説明書』 → 新潟県商工労働部（2000 年 3 月発行）  
(2) 『新潟県立歴史博物館』 → 新潟県立歴史博物館（2000 年 8 月発行）  
(3) 『中条町史』 → 中条町  
(4) 『新発田市史』 → 新発田市  
(5) 『加治川村誌』 → 加治川村  
(6) 『豊浦町史』 → 豊浦町  
(7) 『ふるさと中条』 → 中条町（1998 年 9 月発行発行）  
(8) 『胎内川の恵み』 → 胎内川沿岸土地改良区（2002 年 5 月発行）  
(9) 『わたしたちの郷土 胎内市』 → 胎内市（2006 年 3 月発行）  
(10) 『わたしたちの新発田』 → 新発田市（2005 年 3 月発行）

3 『『蒲原』の意味を知っていますか？』が与えた悪影響・・・・塩津潟の認識が不統一

- (1) 新潟県の歴史が、県民や国民に正しく認識されていない。 ①塩津潟  
(2) 県や市町村の担当部署に、統一されていない。 ⇒⇒⇒ ②塩津潟（紫雲寺潟）  
(3) 新潟県内の「塩の道」が、正確に認識されていない。 紫雲寺潟  
(4) 学校の教育活動に、混乱を起こしている。 紫雲寺潟（塩津潟）  
(5) 職員や教師に、正確に把握されていない。

4 解決策・・・・下記のような解決策を、大至急対応する。

- (1) 国・県・市町村が、郷土の歴史（塩津潟）をね正確に認識する。それを国民・県民・  
市民に正確に伝承する。⇒⇒⇒新潟県史・市町村史・広報誌やポスター等々  
(2) 職員や教師には、特に指導を徹底する。⇒⇒⇒研修  
(3) 『『蒲原』の意味を知っていますか？』を、改訂したものを早急に発行する。